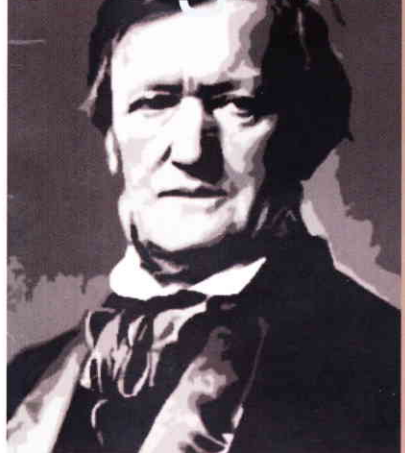


Wagner

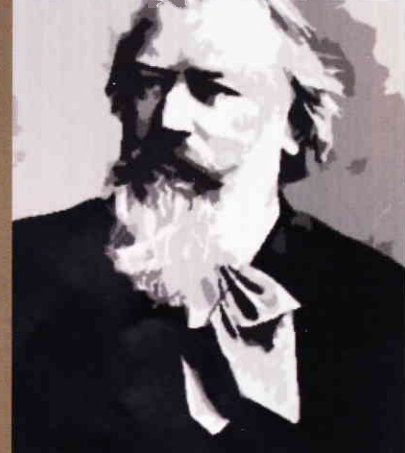


ワーグナー

歌劇「ローエングリン」
第1幕への前奏曲
第3幕への前奏曲

上越交響楽団

Brahms



ブラームス

悲劇的序曲
交響曲第2番

指揮・長谷川正規
第七十四回定期演奏会
コンサートマスター・三溝健一

2015年 **3**月 **8**日(日) 14:00 開演
上越文化会館大ホール

※未就学児をお連れのお客様は、他のお客様のご迷惑にならないようご配慮願います。

本日は上越交響楽団の演奏会にお越しくださいませ、真にありがとうございます。本日の演奏曲「ブラームス 交響曲第2番 長調 作品73」ご存知でしたか？ クラシックのオーケストラ曲では名前の付いている曲、付いていない曲がありますね。ベートーヴェンの交響曲では「英雄」「運命」「田園」等の名曲があります。名前が付いていると何となく取っ付きやすいのですが、番号だけではちょっと引いてしまうかも…。ブラームスの交響曲全4曲には名前が付いていませんが全部名曲で、演奏される機会も大変多く、最近のテレビでも何回か放送されました。初めて聞く曲で、名前の付いていないものを聴く時は満足感に浸れるよう期待していきましょう。本日の演奏をよろしくどうぞ。

指揮者

Hasegawa Masanori 長谷川正規

東京藝術大学音楽学部器楽科にてチューバを専攻。学部在学中に安宅賞を受賞。同大学大学院音楽研究科修士課程修了。

ソリストとして、松尾葉子指揮藝大フィルハーモニア、故岩城宏之指揮オーケストラアンサンブル・金沢と R.V. ウィリアムスのチューバ協奏曲を共演。近年は指揮の機会も多く、上越交響楽団、新潟市・北区フィルハーモニー管弦楽団、上越市民吹奏楽団等で活動を行う。上越文化会館での創作音楽劇「くびき野の歌」、北区オリジナルミュージカル「春のホタル」、南区音楽祭プロジェクト「ヘンゼルとグレーテル」等の指揮も務める。現在、上越教育大学大学院学校教育学研究科専任講師。



コンサートマスター

Samizo Ken-ichi 三溝健一

松本市出身。4歳よりヴァイオリンを始め、片岡世界、正岡紘子、山岡耕祐、天満敦子の各氏にヴァイオリンを、東京音楽大学にて井上將興氏にヴァイオリン及び室内楽を師事。肥沼きよ、竹内邦光、丸山嘉夫、松本紀久雄、汐澤安彦の各氏にピアノ・ソルフェージュ・音楽学・指揮法を師事。大学在学中よりソロ・室内楽・オーケストラ・オペラ等、幅広く演奏活動を行う。殊に「ENSEMBLE」藝弦“(弦楽合奏)”「室内楽“EAU”(ピアノアンサンブル)」を中心に研鑽を積み現在は「音泉室内合奏団」を主軸に活動を展開、編曲も多数手掛けている。また、関東信越各地の市民・学生オーケストラと室内楽にて演奏指導と活動の発展に尽力、また初心者から専門課程の学生及び演奏家の個人レッスンなど広く後進の育成にもあたる。

足立シティオーケストラ・松本交響楽団・上越交響楽団・柏崎フィルハーモニー管弦楽団、他ノ常任・客演コンサートマスター、副指揮者(足立・松本)。音泉室内合奏団ノソロ・コンサートマスター、音楽監督。池袋音楽学院講師。Gruppo Violini 主任講師。Musica Rospo 主幹。



プログラム&曲目解説

■ワーグナー／歌劇「ローエングリン」より第1幕および第3幕への前奏曲

10世紀前半のアントウェルペンのブラバント公国を舞台とした歌劇で、台本と作曲共にワーグナーによる作品です。

ある時、領主ブラバント公が亡くなり、長女のエルザ姫と世継ぎの弟が残されましたが、その弟が行方不明になります。エルザ姫は領主の座を狙う伯爵オルトルート夫妻により弟殺しの罪を着せられます。追い詰められた姫は、夢で見た聖杯(十字架上のキリストの血を入れたとされる器)を守護する騎士ローエングリンに救いを求めました。すると奇跡が起こり天から騎士が白鳥とともに現れたのです。騎士は自分の名前と素性を問わない事を条件に姫の代理人となって決闘に臨みます。そして戦いに勝利し姫の無実を証明し二人はめでたく結ばれます。しかしオルトルートにそそのかされた姫は騎士の正体に疑いを抱き「あなたの名前は？」と、ついに禁断の問いを口にしてしまいます。騎士は自らの正体を明かし再び天空へと去ってゆくのでした。

この歌劇は、時のバイエルン王ルートヴィヒ2世が心酔し、ノイシュバンシュタイン城(白鳥城)を建造するきっかけになった

ことでも知られます。歌劇では今回演奏する前奏曲の他にも結婚行進曲や婚礼の合唱など、独立して演奏される名曲がいくつかあります。

第1幕への前奏曲

歌劇の始まりの情景として聖杯の行列が描かれています。数百年間サルバート山上の塔に秘蔵され、一生を捧げた騎士たちがこれを守護しています。曲は気高いヴァイオリンの音に起こり、木管楽器を経て降下し、金管楽器が力奏した後に再びヴァイオリンに帰るまで、聖杯の主題が絶えず反復し変化します。

第3幕への前奏曲

ローエングリンとエルザ姫との婚礼の前に演奏される祝婚曲です。速いテンポで全奏により華やかに始まり、金管楽器による豪華な主題が現れます。中間部の弦楽器と木管楽器による優美な曲想を経て再び雄渾な主題に戻り曲を締めくくります。

■ブラームス／悲劇的序曲 作品81

ブラームスは第2交響曲と第3交響曲を作曲した同時期に、2つの序曲を書き上げています。ひとつがブレスラウ大学から哲学博士号を贈られた際の記念作である「大学祝典序曲」、もうひとつが「悲劇的序曲」です。「悲劇的」は標題音楽的な意味を持たず、内面的で求心的なブラームスの心に浮かんだ悲劇的テーマの表現であると言われ、「大学祝典序曲」の華やかで明るい曲調と好対照を成しています。ブラームス自身も「一方は涙にあふれ、他方は笑いに満ちている」と述べています。作曲の経緯について、ブラームスの友人である出版者ジムロックに宛てた手紙において「ブレスラウで演奏する約束の下に非常に快活な祝典序曲を作ることになったが、そのような時に自分の気持ちはど

うも憂鬱になって仕方が無いので、悲劇的な序曲も作ることにした」と記しています。

曲は厳格なソナタ形式によります。冒頭に力強い2つの和音、次に弦楽器による静かな第1主題が現れ、管楽器によって緊迫感が増幅されます。柔らかい第2主題の後に再び登場する激しい跳躍による力強い第1主題を経て、最終音は全員によるffで終わります。主題は入念に作られ密度の高い労作であり、一貫して流れる骨太の響きは、さめざめとメランコリックな「悲しみ」に打ちひしがれるのではなく、人生に立ち向かう意思の強さに満ちています。

■ 休憩 ■

■ブラームス／交響曲第2番 二長調 作品73

ブラームスは交響曲第1番の初演に続いて、1877年6月に夏の期間を過ごす避暑地ペルチャッハで新しい交響曲の作曲に取り掛かり11月にはほぼ完成させています。この作品ではシューベルトからの影響が目立っており、特に遺作の「ピアノ・ソナタ変ロ長調D.960」とは、第1楽章の主題の動機や表現などの点で関連性が見られます。ブラームスは出版者ジムロックに冗談を込めて、次のような手紙を送ります。「新作交響曲はとてもメランコリックなもので、あなたには耐えられないほどだ。私はこれまでこれほど悲嘆的で柔和な作品を書いたことがない。スコアは死亡通知の黒枠をつけて出版しなければならない。」などとしたため、悲劇的な作品である旨を予告します。これは彼一流の冗談であり、交響曲第1番の荘重な作風とは対照的に、新作交響曲は自然の大気をいっばいに吸い込んだ二長調ののびやかな作品であり、作品を聴いた人々は心からの共感と理解が寄せられました。

作品の成立過程から見ると、第1楽章を完成する前に第2楽章と第3楽章に着手し、第3楽章が完成する前に第4楽章が書かれ、4つの楽章は近接した時間の中で成立しています。そのため第1楽章の動機が他の楽章でも用いられるなど、楽章相互の結びつきが強くなっています。

この作品は1877年12月にハンス・リヒター指揮で初演されました。新作に対する批評は第1番の重圧から解放された雰囲気すら感じられ、それは作曲者ブラームス自身も同様であったようです。実際、第1番の創作は彼にとっても大きな重圧であったのです。ブラームスの擁護者で音楽批評界の大御所のハンスリックは、「第2番交響曲は、凡人素人の別なく、聴く人の心に温かい陽光を降り注いでくれる…とにかく良い音楽を聴きたいと願う、全ての人のために書かれたといつてよい曲である」と絶賛し、更に、第1番は「ファウストの苦悩を力強い形で表

現した」のに対して、第2番は「大地に咲く優しい春の花のもとに舞い戻ってきた」と述べています。

第1楽章 アレグロ・ノン・トロppo 二長調 3/4 拍子

チェロとコントラバスによる2度音程の動機に導かれて、低弦楽器の上にホルン、続いて木管楽器群が牧歌的で明るい分散和音および音階的な主題を奏します。その後、荘厳なトロンボーンの後にはティンパニが奏する遠雷を思わせる動機も印象的です。冒頭の2度音程の動機はその後の楽章にも用いられてこの作品の統一性に貢献しています。

第2楽章 アダージョ・ノン・トロppo 四長調 4/4 拍子

チェロが物憂げな下行音階的な主題を提示し、それにファゴットが上行音階的な動機で応えます。これはブラームスの表現の個性をよく示しています。第2主題は嬰へ長調でシンコペーションを用いた優雅で落ち着いた楽想です。

第3楽章 アレグレット・グラチオーソ(クワジ・アンダンティーノ) 三長調 3/4 拍子

短いながらもブラームスの持ち味が十分に発揮されています。オーボエが奏する2度音程の動機を用いた主題は第1楽章の動機に由来します。3拍目に前打音や3連符をもつ主題はユニークな印象を与えます。

第4楽章 アレグロ・コン・スピリト 二長調 2/2 拍子

弦楽器のソット・ヴォーチェ(抑制された声)で流れるような主題で始まります。この主題の動機も第1楽章の動機に由来します。その後、解き放たれたかのように非常に生気に溢れた部分に入り、最後は力に満ちた勝利の凱歌で作品を締めくくります。

出演者

*は賛助出演ならびに団友

コンサートマスター
三溝 健一

第1ヴァイオリン

上野 圭子
小菅 宏造
佐藤 さやか
橋本 土郎
平原 良晃
山川 美沙紀
岩田 貴守*
折原 裕子*
田中 陽子*
寺島 さつき*
増井 健一*

第2ヴァイオリン

青木 由美子
安藤 優
泉 紀子
加藤 昌子
齋藤 典子
高松 理恵
田中 教生
藤原 満
山田 美幸
石津 忠*

ヴィオラ

稲田 由佳
岩下 律子
古海 法雲
渡辺 みほ
江口 潜*
大庫 るい*
宮入 徹*
横田 裕祐*

チェロ

池田 なつき
稲井 進
上野 敦子
大坪 美樹
笠野 恭子
加藤 史子
佐藤 慎悟
惣塚 弘
高橋 文子
松下 あゆみ
水澤 由紀
村治 美代

コントラバス

秋山 雅央
吉崎 須賀子
渡辺 光
庭山 佳代*
松原 直之*
山崎 康正*

フルート

齋藤 孝久
福田 幸久
丸山 恵理
森澤 拓
森田 真衣

オーボエ

羽賀 純子
橋本 直子
皆川 正弘
皆川 未央

クラリネット

齋藤 直美
鈴木 和久
富田 洋加
渡辺 英雄

ファゴット

福嶋 梓
宮口 弘明
金井 典代*

ホルン

笹川 修一
島岡 美沙
須田 孝義
森 真人
綿貫 英紀

トランペット

菅野 徳嗣
水澤 学
富澤 勉*

トロンボーン

笠野 光雄
松田 彰英
柳澤 淳

テューバ

若井 一也*

パーカッション

稲田 善智
小島 章子*
中原 健二*
綿貫 佳子*

楽団紹介

1972年(昭和47年)結成。毎年2回開催している定期演奏会、各方面からの依頼演奏や行事への参加を通じて、広く市民に愛されています。

上越市を中心に、県内各地から音楽を愛する仲間が集い、質と達成度の高い音楽を表現すべく、様々な楽曲に挑戦しています。

ことに近年は上越市ゆかりの方との共演を果たしています。2012年、大越さとみ氏を招き、白鳥の湖(ナレーション付)を、翌2013年は牧田由起氏を招き、ブルッフのヴァイオリン協奏曲を披露、好評を博しました。

現在は指揮者に上越教育大学の長谷川正規氏、コンサートマスターに三溝健一氏を迎え、充実した活動を展開しています。



■次回演奏会のご案内■

第75回定期演奏会

日時：2015年9月13日(日)14:00 開演
会場：上越文化会館 大ホール

J.シュトラウス2世 / 喜歌劇「こうもり」序曲
シベリウス / 「カレリア」組曲
シベリウス / アンダンテ・フェスティヴァーヴォ
シベリウス / 交響曲第5番

■団員募集のご案内■

上越交響楽団では団員を募集しております。
通常オーケストラで演奏される楽器であれば、どなたでも入団できます。
素敵で愉快的仲間達と素晴らしい音楽を創りましょう。
団員一同、心より歓迎いたします。

連絡先 Mail : mako2034@joetsu.ne.jp
Tel : 090-1606-1254(茨木)
ホームページ <http://www.5a.biglobe.ne.jp/~jsovn/>